

公式マスコットキャラクター  
「エビちゃん」



堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌

# ぞうさん広場

vol. 23  
2020 春号

特集

地域の医療機関と患者さんをつなぐ

## 地域連携センター



地方独立行政法人 堺市立病院機構

### 堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER



Feature

特集

# 地域連携センター

副院長  
地域連携センター長  
こ の じょうじ  
河野 譲二 先生

## 地域連携センターが 地域の医療機関と患者さんをつなぐ

### 地域の医療機関が連携し 地域完結型医療に取り組む

地域医療連携は、医療機関（総合病院、専門病院、診療所など）同士がそれぞれの機能を分担し連携することにより助け合っていく仕組みです。医療機関が特性や強みを活かして円滑に連携を図ることで、患者さんが生活する地域で継続性のある適切な治療を受けられるようにすることを目的としています。また、医師不足を補ったり、医療資源を共有し有効的に活用したりすることにもつながります。医療の機能を分担することで、必要な時に適切な医療が受けられるほか、専門領域に偏らない全人的な医療が提供できるというメリットもあります。「地域完結型医療」を目指し、医療連携に取り組んでいます。

### 地域連携の取組み

堺市立総合医療センター



#### 逆紹介

症状が安定し、継続的な治療が必要なとき



#### 紹介

治療が必要な検査や検査するとき

連携

地域の医療機関（病院・診療所など）

（かかりつけ医）

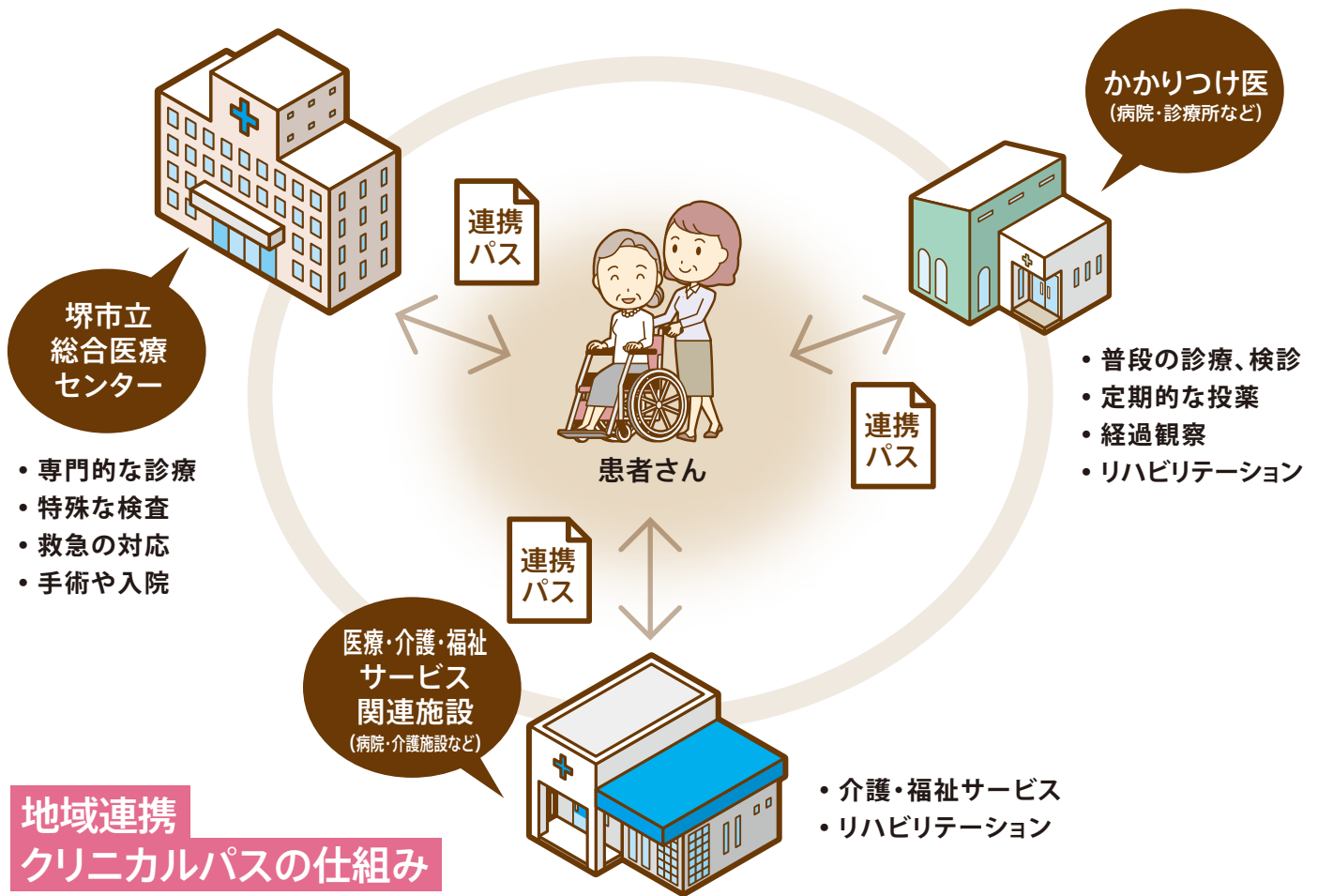


### より円滑な地域医療を目指し 地域連携センター設立

平成8年に堺市医師会の協力のもと地域医療連携室を設置。平成19年に地域連携、医療相談、看護相談の窓口を一元化し、平成27年に地域連携センターとして運営が始まりました。地域のかかりつけ医の先生から、専門的な治療や検査が必要になった際に紹介していただいた患者さんの受入れの調整や、患者さんの相談窓口として機能しています。当院では、ご紹介いただいた患者さんを可能な限りお断りすることがないよう体制を強化しています。また、かかりつけ医の先生方が診療されている時間は当センターで迅速に対応できるように受付時間を調整するなど、より円滑な病診連携につなげられるよう日々努力しています。



医療福祉相談員  
はま おか しげ のり  
濱岡 重徳さん



## 地域連携センターを中心に 切れ目のない医療を提供する

地域連携センターは、「前方支援業務（地域連携）」と「後方支援業務（医療相談、看護相談）」の2つの役割を担っています。地域の病院や診療所などの窓口となっている前方支援では、当院での診療や検査が必要になった紹介患者さんの受け入れや、セカンドオピニオン外来の対応、医療機関からの問合せ対応などを行っています。看護師3名、事務スタッフ5名が在籍し、スムーズな病診・病病連携を行う上で重要な役割を果たしています。

後方支援には看護師4名と社会福祉士6名が在籍し、当院での治療を終えた患者さんの転院調整や退院支援を行っています。在宅医療を希望される方が、自宅に戻っても必要な治療や看護、介護が受けられるように、ケアマネジャーなどの多職種と意見交換会や勉強会を通じて顔の見える関係を構築し、調整しやすくなるように連携しています。

治療の終了が支援の終了ではなく、患者さんやご家族のこれからを一緒に考え、一人ひとりのニーズや生活背景をしっかりと理解した上で、継続的な医療が提供できるように努めています。

## 地域と緊密な連携で 患者さんへ継続的なケアを行う

地域で切れ目のない医療を提供するために、病院や診療所などの医療従事者が治療経過の情報を共有できるように診療計画である「地域連携クリニカルパス」を活用しています。診療にあたる複数の医療機関の間で患者さんに関する情報を共有することで、必要な時に適切な治療を受けていただくことができる仕組みです。

また、患者さんにも今後の治療計画を提示し理解していただくことで、安心して治療を受けていただくことができます。病院や診療所間での連携を効果的にするだけでなく、医療の標準化も図ることができ、さらに地域医療の質の向上にもつながっています。



## 前方支援の業務

地域の  
医療機関からの  
ご紹介に対し  
迅速に対応



当院と地域の医療機関をつなぐことが地域連携センターの「前方支援」の役割です。より専門的な治療などが必要になった患者さんを地域の医療機関からご紹介いただく窓口となり、また当院で急性期の治療が終了し、症状が安定した患者さんを地域の医療機関に逆紹介させていただいております。1日に約100〜120件の紹介患者さんの予約を調整し、患者さん一人ひとりの病態等から当院のどの診療科が適切か判断しています。看護師も在籍しているため、症状に応じた迅速な連携が可能です。また、当院ではセカンドオピニオン外来にも注力しています。地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、主にがんの患者さんのご紹介も多く、当院の医師で対応できる範囲でセカンドオピニオンを受け付けています。



(左)医療福祉相談員 佐谷 健さん、(右)地域連携センター看護副院長 新宅 麗香さん

## 後方支援の業務

退院後も安心して  
生活できるよう  
患者さんや  
ご家族をサポート



地域連携センター  
医療福祉相談員  
もりした まい  
森下 真衣さん

訪問看護ステーションや療養先となる医療機関との調整を行っている「後方支援」では、地域で安心して暮らしていただけるように継続医療、経過観察、リハビリなど患者さんの状況に合った情報や選択肢を提示することで、サポートしています。

社会的なサービスや制度についての知識を豊富に有する医療ソーシャルワーカーや精神保健福祉士など、専門性の高いスタッフが揃っていることが当院の強みです。また、日常の健康問題や治療の悩みを受け付ける看護師による看護相談も行っています。多職種がそれぞれの得意分野で協力しながら、地域医療につながっています。相談支援件数は年間9000件を超えており、相談支援のニーズは高まっています。暮らしている地域や住まい、加入している保険状況、生活感や人生観などの価値観は患者さんによって異なり、それらを把握した上で患者さんが望む生活に少しでも近づけるように、私たちがサポートし、途切れのない支援を今後も続けていきます。

## 顔が見える関係”を構築し 病診・病病連携を強化

現在、連携している登録医の数は864名となり、当センターの立ち上げ当初に比べ約4倍に増加しています。一つの病院だけで治療を最初から最後まで行うことは少なくなり、社会のニーズや時代の変化とともに、地域のかかりつけ医と病院がお互いに紹介しやすい環境となってきました。当院でも紹介率は約8割、逆紹介率は約9割と年々向上し、患者さんにとっても満足していただける医療の提供につながっていると思います。

病診・病病連携で重要なことは、転院先で症状が悪化した際に再度ご紹介いただける関係性の構築です。また、必要に応じて当院から逆紹介した



歯科口腔外科部長  
地域連携センター副センター長  
おぐら たかふみ  
小倉 孝文先生



(左)地域連携センター副センター長 柴野 賢(しばのまさる)先生

患者さんの転院先に当院のスタッフを派遣して、引き続きサポートできる体制を整えています。また、各病院と”顔が見える関係”を構築するために積極的に交流会などを開催し意見交換をしています。当院を退院し、在宅医療や転院する患者さんにもしっかりとフォローすることが重要で、今後さらに注力していきたい部分でもあります。回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟などの病院も増え、患者さん自身が病院を選択できる時代になっており、今後、患者さん主導の医療サービスの提供が求められています。そのためにも地域包括ケアシステムの構築に堺市が丸となって取り組んでいく必要があります。

## 地域連携の発展に向けて IT化を推進

今後の地域医療連携における課題は、IT化を進めることです。堺市二次医療圏ではICT(情報通信技術)の導入を計画しており、活用されることで、地域包括ケアシステムや多職種連携を支え、医療や介護、生活支援を強化できます。さらに、医療従事者が患者さんと向き合う時間を増やすことができるため、これまで以上に一人ひとりに寄り添って対応することが可能になります。また患者さんに対して、病院の機能やかかりつけ医の必要性を伝えていくことで、さらに良質な医療の提供につながると考えます。地域連携センターが率先してその役割を担っていきます。

〈申し込み・問合せ先〉

地域連携センター

TEL:072-272-9900

FAX:0120-002-099

〈受付時間〉

月～金曜日 9:00～20:00

土曜日 9:00～12:45

(祝日・年末年始の休診日を除く)

※患者さんからの直接のご予約時間は、月曜～金曜日の13:00～16:30です。

もっと知りたい!

## 地域連携センターQ&A

手話通訳士の宮川さんが地域連携センターについての気になる疑問にお答えします。

### 窓口に直接相談へ行っても受け付けてもらえますか?

基本的には担当医からのご案内となりますが、1階の相談窓口へ直接来ていただいても受け付けできます。

### 診療・検査を即日予約できますか?

診療科によって予約できる曜日や医師の状況にもよります。ご相談いただいた際に、予約可能な時間枠などお伝えいたします。

### 手話で相談対応してもらえますか?

堺市で唯一手話通訳士を配置し、手話を日常会話の手段にしている患者さんが安心して受診していただけるようにしています。



手話通訳士 宮川 治子さん  
みやがわ はるこ

# 多職種がタッグを組む「リエゾンチーム」が より良い精神科医療の提供を目指す

精神科医と精神看護専門看護師、精神保健福祉士の3名で構成される「リエゾンチーム」。  
リエゾンにはフランス語で“連携・繋ぐ”という意味があり、  
患者さんと病院、病院と地域を繋ぐ役割を担うリエゾンチームの皆さんにお話を伺いました。



精神保健福祉士  
いぬまき ようへい  
狗巻 洋平 さん

医療法人杏和会 阪南病院  
くろだ けんじ  
黒田 健治 院長

精神看護専門看護師  
べいかしの  
米花 紫乃 さん

**精神医療と身体医療を繋ぎ  
チームで心理社会的支援を行う**

当院における新病院開院と同時に、救命救急センターを備えたことで重症患者の増加と共に精神疾患の患者さんも増加しました。より専門的な精神治療が提供できるように、市立堺病院のころから非常勤として診療を行っていたいただいている阪南病院の黒田院長を中心にリエゾンチームを2015年7月に発足しました。発足前と現在では、当チームが介入対象とする症例数は約5倍に増加。このことから精神症状や心理的な問題を抱え、支援を必要としている人が社会的にも増加していることがわかります。さらに、高齢化に伴い認知症患者が増えることで精神科のニーズは高まっており、総合病院における立ち位置は変化しています。

救急搬送された患者さんの中には、身体的ケアと精神的ケアが同時に必要な方もいます。精神科の医師が在籍するリエゾンチームが患者さんと身体的ケアを行う診療科との間に介入する事でのような治療が必要かを判断し、当院以外での治療が必要になった場合でも、連携している専門の医療機関に紹介することも可能です。

**専門性を活かしたチーム医療で  
患者さんを包括的にサポート**

役割の異なる医師、看護師、ソーシャルワーカーが一つのチームとして精神的な不安を抱える患者さんの情報を共有し介入することは、患者さんへの細かなフォローに繋がります。また、病棟との連携も非常に重要です。回診の際には、患者さんや担当看護師と直接話をして、相談しやすい環境にすることを心がけています。患者さんやご家族の希望に可能な限り応えるために、日頃より各診療科および地域の関係施設とコミュニケーションを図り、より円滑な地域医療連携に繋げることが私たちの使命です。今後も安心できる医療の提供に尽力していきます。



関西で初のメンタルケア病棟を開設し「精神科医療を通じて地域社会に貢献を」という目標掲げる阪南病院。精神医療と保健福祉に貢献し、質の高い医療サービスを提供する。

# Introduction of Nurse

看護師のご紹介

## 01

地域連携センター副センター長 総括師長

もりがみ なおこ  
盛上 尚子さん



### Q 盛上さんはどんなお仕事をしていますか？

地域医療連携を推進する上で、一人の患者さんを取り巻く全ての医療従事者が情報共有することは非常に重要です。そして、それらの医療従事者が共通した認識を持てるように調整することが私の重要な役割です。これからの看護師は、看護の知識だけでなく、介護保険制度や福祉サービスのことを理解して、患者さんやご家族を尊重し、サポートをしなければなりません。患者さん一人ひとりに見合った調整を行うことで、住み慣れた地域で自分らしいライフプランが設計できると考えています。これからも、経験を積みながら知識と技術に磨きをかけていきたいと思っています。

## 02



地域連携センター看護相談 看護師長

やな がわ ふ く み  
柳川 富久美さん



### Q お仕事で心がけていることを教えてください。

患者さんやご家族が安心して療養場所や在宅支援サービスを選択できるように、地域の病院や診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等と日頃から密に連携することを心がけています。当院以外で開催される交流会や勉強会にも積極的に参加し、地域の訪問看護師やケアマネジャー等と意見交換、情報共有を行うことで、患者さんへのよりスムーズな支援の提供が可能になると考えています。また、堺市でも一人暮らしの高齢者や認知症の方が増えていますので、ご本人やご家族の不安を少しでも軽減するため窓口では安心して相談できる対応を心がけ、地域の医療機関や福祉施設と協力しながらサポートに努めてまいります。

## 地域医療を考える」

## 西川 正治

一般社団法人堺市医師会 会長  
医療法人薫風会 西川クリニック 院長



全ては目の前の患者さんのために。  
病院、医師会、開業医の連携を強化して、  
医療の質を高めていきます。

— 西川

### 地域医療連携の強化で シームレスな医療を提供する

**河野** 医師不足が問題となったことで、病院の勤務医と地域の開業医が役割分担をして患者さんを診療していくことが地域医療連携です。患者さんに必要な医療を最大限に提供できるように、開業医の先生方とは「顔が見える関係」を大切にしています。

**西川** 限られた医療資源を有効活用するために必要なのが、1人の患者さん

んに2人の主治医という考え方で。そのためには、河野先生がおっしゃる医師同士が「顔が見える関係」を構築し、お互いの技量を知ることです。スムーズな連携に繋がると

思います。また、病診連携をより円滑に進めるために、地域連携クリニカルパスを作りました。病院の勤務医と顔を合わせる機会を増やし、地域の開業医との連携を強化できるように、医師会が調整役としての役割を担っています。

**河野** 現在、地域連携クリニカルパスを

運用することで、病院が行う治療として診療所・クリニックが行う治療を勤務医と開業医が相互に理解し共有して診療にあたれるようになりました。また、医療の標準化が進み、地域医療レベルのベースアップにも繋がっていると考えます。

**西川** その通りです。地域連携クリニカルパスの存在は、私たち開業医にとつて病院の先生方が学会などで学んだ最新の医療知識を得られる機会にもなっているため、知識習得のツールの一つになっています。さらに患者さんの検査漏れを防ぐ機能も果たします。地域連携クリニカルパスを確認すれば時間的経過が追えるので、患者さんへの細かなフォローが可能になりました。

### 地域包括ケアシステムの構築が 今後の地域医療を支える

**河野** 切れ目のない医療を提供するためには、地域全体で患者さん一人ひとりの治療経過を診ていくことが重要です。患者さんには、暮らしている地域で自分に合ったかかりつけ医を見つけていただくよう啓発していかなければなりません。



堺市民の健康のために、医師会と協力して、  
堺市の医療を引っ張っていくことが  
私たちの使命です。

— 河野

「これからの堺市の

# 河野 讓二

堺市立総合医療センター 副院長  
地域連携センター長



**西川** 住み慣れた場所で治療が完結する

ことが地域包括ケアシステムです。地域が一丸となって包括的なケアをしていくためには、設備投資やシステムの導入など医療側の進化が必要になります。医師たちが河野先生のような意識を持つことで良い発展に繋がると 생각합니다。

**河野** 年々地域のコミュニティが無くなっ

ているという社会的背景がある中で、地域包括ケアシステムのような新たなコミュニティを作ることが急務となっています。1人の患者さん

を中心に、全てのケア・サービスが

提供できるネットワークの構築は、時代のニーズに合わせて医療者がさらに注力していかなければならないと実感しています。

**西川** 私も同じ考えです。それは病院だ

けが背負うものではなく、医師会や開業医も一緒になって考えていく課題でもあります。

## ICTの活用で

## 地域医療の充実を図る

**河野** 地域包括ケアシステムを推進す

るためにはICT（情報通信技

術）が必要になります。堺市二次医療圏でも、堺市や堺市医師会、地域医療支援病院と連携して将来的に導入するために協働しているところではあります。そして、堺市全体に普及させていこうと考えています。ICTを導入することで、開業医の先生が病院の予約を取りやすく、病院の情報が得やすくなるため、円滑な地域連携に繋がると 생각합니다。

**西川** 将来の日本の医療を考えた時に、

目の前の患者さんのためを思えば必然的に取り組む必要があることです。貴院と各医療関連施設が、さらに顔の見える関係を強化することで、これからの堺市はますます医療が充実していくと思っています。

**河野** 私たちも地域を支える病院とし

て、必要とされることを先行して取り組んでいきたいです。医師会を頼りにしていますし、西川先生が医師会長になられたことで新たな展開が待っていると期待しています。医師会の活動に協力し地域医療に貢献していきます。

※病院と診療所・クリニックとの連携。



# 当院の登録医の先生をご紹介します

## Introduction of Registered Physician



### 高石市東羽衣



一般歯科・予防歯科・小児歯科・審美歯科・成人矯正

医療法人 秀元会

## 辻野歯科医院

高石市東羽衣5-14-16

●南海本線「羽衣駅」より徒歩約7分

### ☎072-265-8211

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	/	○	○	/
14:00~19:00	○	○	○	/	○	△	/

※木曜・日曜・祝日は休診 ※祝日のある週は木曜診療  
※土曜は17:00まで



●**当院の特長**  
一般歯科をはじめ、小児歯科、予防歯科、インプラント治療など幅広い歯科医療を提供しています。むし歯などの治療で歯科医院に来る患者さんは恐怖心を持っておられる方が多いです。そういった方にも安心して治療を受けていただけるように、注射の痛みが少ない表面麻酔や、表面電極でツボを刺激して痛みを感じにくくさせるオームパルスなどを使用して「痛みの少ない治療」を行っています。高度な補綴(ほてつ)治療ができる時代ですが、当院ではできるだけ削らない治療を心がけ、かけがえのない天然歯を維持できるようにケアしていきます。

●**私の診察モットー**  
先代の院長の言葉である「噛めることがいかに健康に大事か」ということを大切に、健康な歯を維持しながら元気に過ごしていただきたいという気持ちで診療しています。患者さん一人ひとりとしっかりと話しし、生活背景などを理解した上で、患者さんに適切な診療を行うことが大切だと思っています。また、歯を支える土台である歯茎の治療にも注力し、再発しない歯科医療の提供に尽力しています。

●**地域の患者さんへメッセージ**  
歯医者は歯の痛みを治すところというイメージがありますが、トラブルが起きてからでは遅いので、痛くなる前に継続的に検診に来ていただくことが重要です。ぜひご家族揃って検診にお越しいただき、家族全員で歯の健康を守っていきましょう。お口以外のこともご相談いただければ、地域の医療機関と連携していますので、ご紹介いたします。

※歯科治療における補綴治療とは、歯が欠けたり、なくなった場合にクラウンや入れ歯などの人工物で補うことをいいます。

### 西区浜寺石津町



一般歯科・予防歯科・小児歯科・口腔外科・審美歯科

医療法人

## 広畑歯科

堺市西区浜寺石津町中3-13-24

●南海本線「石津川駅」より徒歩約1分

### ☎072-247-2223

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:00	○	○	○	○	○	○	/
15:00~19:00	○	○	○	○	○	△	/

※日曜・祝日は休診 ※土曜は17:30まで



●**当院の特長**  
一般歯科、小児歯科、口腔外科、補綴歯科矯正歯科など幅広い診療科目に対応する総合歯科医院です。院内の設備も整っており、CTや電動麻酔器、口腔外バキュームなどの医療機器を導入することで、患者さんに充実した治療を受けていただけるように努めております。また、歯の修復物を製作するCAD/CAMシステムのセレクトを設備しているため、補綴物を即日で作成して、装着が可能なため、来院日数を少なくし、感染の予防が可能です。歯科工士が在籍しているため、入れ歯の破損などの緊急時にも対応しています。

●**私の診察モットー**  
患者さんしっかりとご理解いただけるように、丁寧な説明を心がけています。口腔内カメラを用いて、患者さん自身に口内を見ていただきながら、ご要望に合わせて必要な治療の方針をお伝えしています。痛くなったなら歯医者に行くのではなく、メンテナンスのために定期的に来ていただくことを推奨しています。

●**地域の患者さんへメッセージ**  
「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」と言われるように、自分の歯で噛むことができる人ほど、脳の活性化につながり、健康寿命が伸びると考えます。そのため、早め早めのメンテナンスを行うことが重要です。当院では、安心と満足いただける診療で、地域の患者さんのお口の健康維持のために尽力していきます。歯のあらゆるお悩みに対応できる体制を整えているので、お気軽にご相談ください。

当センターで  
たくさん

# welcome baby 赤ちゃんが産まれています!



令和元年  
10月2日生



莉乃羽(りのは)ちゃん

### ♡名前の由来

清らかで優しく人に愛され、世界に羽ばたけるような広い心を持つ子に育ちますように。

### ♡どのようなお子さんに育って欲しいか

人に優しく誠実な女の子に育って欲しいです。そして広い心を持って色々なことに挑戦できたらいいな。なによりも健康で元気に育ってくれることが1番です。



### ♡ご両親からのメッセージ

元気な産声と共に産まれてきてくれた紬ちゃん! 家族みんな可愛い紬ちゃんにメロメロです♡これからたくさんお洒落して色んなところに出掛けしようね♪

### ♡どのようなお子さんに育って欲しいか

笑顔の絶えない明るく元気な女の子に育ってほしいです。お父さんとお母さんにたくさん甘えてすすく育ってね!



令和元年  
11月12日生



紬(つむぎ)ちゃん

令和元年  
11月13日生



真弥(しんや)ちゃん

### ♡ご両親からのメッセージ

ぷくぷくなしんやくん、パパとママのところに産まれてきてくれてありがとう。お兄ちゃん達と元気いっぱい健康にスクスクと成長してください。

### ♡名前の由来

パパの名前、将太の「将」を取り、兄弟みんな名前の漢字が繋がっています。上の子から将斗、真ん中の子が斗真、そして真弥です。



令和元年  
11月17日生

### ♡ご両親からのメッセージ

あさひが産まれてきてくれるのを周りのみんなもママも楽しみに待っていました!! お姉ちゃんと一緒にすすくと元気に育て☆産まれてきてくれてほんとにありがとう♡

### ♡どのようなお子さんに育って欲しいか

あさひという名前は優しいイメージがあるのでつけました。名前の通り心優しいおひさまみたいな明るい子になってほしいなあ.....♡



心春(あさひ)ちゃん





# 春の食材を使ったレシピ



さわら

## 鯖の菜種風焼き

筋力アップには食事でのたんぱく質摂取+運動の組み合わせが効果的です。たんぱく質を構成するアミノ酸は筋肉の材料となり、中でも「ロイシン」は筋肉の合成を促すとされ、肉や魚など動物性たんぱく質に多く含まれます。



### 栄養価(1人分)

・エネルギー 275kcal ・たんぱく質 24.6g ・塩分 1.1g

### 【材料 4人分】

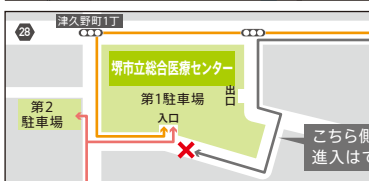
さわら 鯖 …………… 200g(2切)	スナッペン …… 50g(10本)
酒 …………… 小さじ2	マヨネーズ …… 大さじ1
しょうゆ …… 小さじ2	塩こしょう …… 少々
卵 …………… 80g(1個)	プチトマト …… 適量

### ●作り方

- 卵はゆで卵にして刻んでおく。スナッペンは筋をとって下ゆでし、半量は小口切りに、半量は開いておく。
- さわらは、酒・しょうゆをふりかけて少し置き、下味をつける。
- ゆで卵と小口切りのスナッペンを、マヨネーズ、塩こしょうで和える。
- さわらは、酒・しょうゆをふりかけて少し置き、下味をつける。
- ④の上に③をのせて、さらに5~6分焼く。
- 開いておいたスナッペンと一緒に盛り付ける(トマトがあれば添える)。

栄養管理科 馬場 千歳

## Access 交通のご案内



※当院駐車場へのご利用は一方からの進入となっております。  
※月、火、木曜日は大変混雑しますので、第2駐車場もご利用ください。

こちら側からは駐車場への進入はできません

## 堺区・南区方面に送迎バスを運行中!

堺区ルート 19本/日 南区ルート 8本/日

無料  
※平日のみ

●運行ルート・時刻表につきましては、ホームページでご確認ください。

### バスでお越しの方

中もず駅前、石津川駅前、深井駅、泉ヶ丘駅、若竹大橋、梅・美木多駅、堺東駅前  
上記の南海バス停留所から、堺市立総合医療センター行きのバスをご利用ください

### 電車でお越しの方

JR阪和線津久野駅 徒歩約5分

### 車でお越しの方

阪和自動車道「堺IC」より10分  
阪神高速道路15号堺線「堺出口」高架道を出口まで進み国道26号線より15分

### 駐車場料金のご案内

一般ご利用者(お見舞い等)	当日受診された方	手術付き添いの患者さんのご家族等
最初の1時間 <b>200円</b>	5時間まで <b>200円</b>	24時間まで <b>200円</b>
最初の30分以内に駐車の場合は無料。以降30分毎に100円		当日受診された障害者手帳をお持ちの方 <b>無料</b>



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

TEL.072-272-1199

<http://www.sakai-city-hospital.jp/>